

受動喫煙防止対策商品のリーディングカンパニーとして、分煙社会をけん引する株式会社トルネックス。

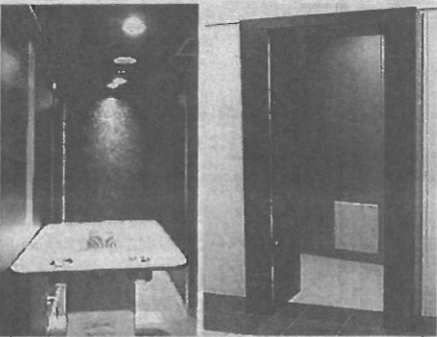
⑩ 株式会社トルネックス (東京都中央区)

創業は1968年、当初は工場などで使われる産業用エアカーテンの開発販売を手掛けていた。分煙対策の提案を始めたのは30年ほど前。その経緯について、同社の島田秀治さんはこう説明する。

「エアカーテンは出入口を風で遮断して臭いや虫、ホコリなどの侵入を防ぐもの。その大敵となるつむじ風の研究を進める中で、人工竜巻形成技術の開発に成功した」。新たな技術活用の一環として生まれたのが主力の喫煙所システムだ。

空気清浄技術が生きる分煙製品

しかし、「分煙」という言葉すら浸透して



型ナも大ゲート出入口設置した館内各所にも中和消臭装置を設けた喫煙室。トから設備・内装も好評の難波区浪速市

多様なニーズも柔軟に

ほかにもタバコの手で汚れた家具や壁のクリーニング、喫煙所のリメイクやメンテナンスなど多様なクライアントの細かな要望に応える中で生まれたサービスや製品は多い。「ニッチなニーズに幅広く対応できることが

いない80年代後半。「『自席での喫煙はやめましょう』など、分煙の啓発もあったが、なかなか理解は得られなかった」と島田さんは振り返る。

潮目となったのは2003年、公共の場での受動喫煙防止策を規定した健康増進法の施行だ。「分煙」への意識の高まりとともに、トルネックスの製品は徐々に全国へと広まった。長年培った空気清浄技術を生かした同社の分煙製品は個性派ぞろい。屋内外対応の喫煙ブース、人工竜巻が煙を吸引・集じん・脱臭する喫煙カウンター、驚異的なパワーが自慢の高性能プラズマ集じん脱臭装置、エアカーテンボックス：中には、喫煙所の出入口に設置するゲート型中和消臭装置といったユニークな製品も。ゲートで数秒間風に当たる衣服に付着したタバコの臭いが抑えられるという。

最大の強み」と島田さんは胸を張る。

さらに「自社製品にこだわらない分煙ソリューションの提案」も特徴のひとつ。無料のヒアリング・調査を経た結果、時には他社製品であるパーテーションと換気扇の工事のみで終わることもあるとか。それでも「お客さまが求める条件にかなっているのであれば」とあくまでユーザー目線に徹する。喫煙所設置にあたり国や都、区などへ助成金を申請する際は煩雑な手続きへの手厚いアドバイスも。最適な分煙環境へ向け、最後まで「伴走」してくれる頼もしいパートナーだ。分煙に関するお問い合わせは

★東京都「家庭内でも禁煙」条例成立 10月5日、東京都議会で「子どもを受動喫煙から守る条例」が自民党を除く賛成多数で可決、成立した。「子どもを立ち入らせない」などの努力義務を課しており、私的空間での禁煙を求める条例は全国初。小池百合子都知事率いる地域政党「都民ファーストの会」、公明党、旧民進党が条例案を共同提出し、自民党は「私的空間に条例が踏み込むのは慎重であるべき」と反対に回った。施行は来年4月。

3・5800(平日10-17時)